



ひまわり

男女共同参画推進室ニュースレター

HiMaWaRi

University of Hyogo Marvelous Women Researchers

Vol.18
平成28年12月発行

発行:兵庫県立大学男女共同参画推進室
〒651-2197 神戸市西区学園西町8-2-1
TEL:078-792-4822 FAX:078-794-5575

平成 25 年度から、男女共同参画にかかわる全学的なシンポジウムを開催しています。今年度は高校生や大学生を対象に、理系への進学や研究職の選択を応援するため、理系研究者の魅力を伝えるプログラムを実施しました。第一部では、企業・大学で働く理系の研究者に研究内容や働き方についてご講演いただき、第二部では高校生や大学生と一緒に「わたしたちのいまとこれから」と題して、クロストークを行いました。



推進室
本部主催

女性研究者の魅力発信～リケジョのススメ!～

日時：平成 28 年 10 月 22 日 (土) 13:00～16:30

場所：あいめっせホール (イーグレひめじ)

参加者：108 名 (学生 34 名、教職員 54 名、一般 20 名)



基調講演 1 渡辺百合香さん (資生堂株式会社化粧品開発センター)

「ワクワクをカタチにするものづくり～感性と機能の融合～」

企業で日焼け止めの開発に携わっている渡辺さんは、研究内容を紹介しながら、「アイデアを形にできる」「自分が作った製品が売られている現場をみるができる」「グローバルに働くことができる」「様々な人と協力して一つのものを創り上げることができる」ことをやりがいとして挙げました。また自身のライフコースを振り返り、様々な経験が必ず研究に活きて述べ、そのためにも学生時代には「よく遊びよく学べ」と、女子学生にメッセージを送りました。



基調講演 2 高岡素子さん (神戸女学院大学人間科学部教授)

「理系女子 × わたしらしさ」

理系女子が少ない理由について、先行研究や脳科学の知見とご自身の体験を交えて分析し、「苦手意識の刷り込み」や女性の「言語的推理能力」の高さを指摘したうえで、それぞれの個性を尊重する視点を持つことが重要と話しました。また、留学先のスウェーデンでは女性研究者が多く働いていたことから、スウェーデンの男性育児休業取得率や教育制度などを参照し、労働をめぐる制度や意識についての国際比較を示しました。



クロストーク 学生 × 研究者 「わたしたちのいまとこれから」

学
生

龍野高校 2年生 (2名)
県立大学附属高校 2年生 (2名)
県立大学工学部 4年生

研
究
者

渡辺百合香さん (株式会社資生堂 化粧品開発センター)
高岡素子さん (神戸女学院大学 人間科学部 教授)
伊藤 (新澤) 恭子 (県立大学生命理学研究科 准教授)

〔コーディネーター〕片田範子 (兵庫県立大学 副学長、男女共同参画推進室長)

はじめに高校生・大学生がそれぞれ壇上にて自己紹介を兼ねた活動報告を行いました。その後のクロストークでは、学生からの「研究は孤独ではないのか」「一日の過ごし方」「若い時にしておけば良かったこと」などの質問に、登壇した研究者から応答がありました。さらに今度は研究者から学生へ、また会場にも質問が飛ぶなど、相互的で活発な意見交換が行われました。

参加者の声

- ・研究者の生の声を聞いてよかった。これからの自分の進路に活かしたい。
- ・様々な世代・立場の方の意見を楽しんで聞くことができました。

